



○令和6年がスタートしました。 1月9日(火)

集会では、小学6年生のバイオリニスト「吉村妃鞠(ひまり)」さんを紹介しました。これまでに国内外の40以上のコンクールに出場し、すべて優勝している方です。実力が認められ10歳という最年少で超難関のアメリカ・カーティス音楽院に合格しています。集会ではカルメン幻想曲の一部を聞きましたが、12歳とは思えない素晴らしい演奏でした(時間があれば、バッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト短 アダージョを聞いてほしかったのですが)。インタビューの中で、「人を幸せにできる、感動させられる演者になりたい」と話をしていました。若くして超一流であるのに、それに驕らず「人のために」という姿勢であることに感動しました。



出典: 妃鞠 HIMARI | Violin - オフィシャルサイト
<https://himari-info.com/>

○能登半島地震に対する募金をお渡ししました。 1月19日(金)

小林市は、能登町と姉妹都市を締結しており、昨年8月も能登町の中学生との交流を行っています。そのようなこともあり、今回の地震災害に対して、報道でもありました通り小林の中学生が中心となり募金活動を行うことになりました。

本校でも生徒・職員による募金活動が行われ、約1万7千円の募金が集まりました。ご協力いただいた生徒、保護者の皆様ありがとうございました。



引き取りが授業中であつたため教頭先生から担当者にお渡ししました。

○本年度最後の家庭教育学級を行いました。 1月18日(木)

本年度最後の小中合同の家庭教育学級を中学校で実施しました。内容は中学校校長による『子どものために保護者ができること』でした。

大きく3つのこととお話ししました。1つ目は、「外遊びや運動をしていますか」で、外界からの刺激を受けることや、体を動かすことが脳の発達を促すことに大切だということ、1つ目は「ゲーム、スマホは大丈夫ですか」という内容で、保護者がしっかりと考えを持ち「うちはうち、よそはよそ」を貫くこと、ゲームやスマホを長時間やり続けることを、お菓子やジュースを長時間食べ続けることに例えれば放っておけないのでは?等とお話ししました。3つ目は、子どものもつ「強み」を見つけ、伸ばしてやることの大切さについて触れました。

講話の後は、綿引さんより、多肉植物の育て方・増やし方についての講習を行っていただきました。

○平成10年度卒業生の皆様ありがとうございます。 1月9日(火)

平成10年度卒業生の代表者の方がお二人来校され、厄年の記念として金一封をご寄贈していただきました。生徒達のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

○2・3月の主な予定

- ・2/5 教育相談
- ・2/7 県立高校推薦入試
- ・2/7、8、9 第3回校内テスト(1,2年)
- ・2/15 県立推薦入試内定通知
- ・2/19~21 県立一般入試願書受付
- ・2/20 第4回参観日、立志式



- ・3/5、6 県立高校一般入試
- ・3/8 送別行事、弁当の日
- ・3/16 卒業式
- ・3/18 県立高校合格発表
- ・3/26 修了式
- ・3/28 離任式



・※変更の場合もありますので、学級通信等でご確認ください。

○編集後記

この時期の中学校は、3年生の入試が本格的にスタートし、ある種の緊張感に包まれます。教師はこれまでに何度も経験していることですが、3年生の心情はいかばかりかと思えます。

冬休み前から面接の練習を重ね、志望理由や中学校で頑張ったこと、高校で取り組みたいことなどを自分の言葉で話せるようになってきました。

以前は、志望理由について暗記した言葉を滑らかによどみなく話せることよとと考えていた時もありました。しかし、受検者が自分自身と向き合い、自分は何のために高校に行くのかというしっかりとした『柱』を建て、そこから出てくる自分の言葉であれば、たとえうまく話せなくても面接官の心に届くのではないかと考えています。(中)